

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 株式会社 ユニバンス
 コード番号 7254 URL <http://www.uvc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月5日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 鈴木 一和雄
 (氏名) 中村 寿男

TEL 053-576-1311

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	34,146	△33.5	△1,260	—	△1,299	—	△2,417	—
21年3月期第3四半期	51,366	—	△157	—	△14	—	△3,310	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△114.93	—
21年3月期第3四半期	△157.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	38,009	13,657	35.5	641.17
21年3月期	36,465	15,432	41.9	726.58

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 13,484百万円 21年3月期 15,280百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	0.00	5.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,500	△23.7	△1,200	—	△1,250	—	△2,400	—	—

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等」の「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 23,396,787株 21年3月期 23,396,787株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 2,366,282株 21年3月期 2,366,072株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 21,030,532株 21年3月期第3四半期 21,031,122株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。これらに関する事項については、4ページ「定性的情報・財務諸表等」の「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当期の経営成績

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の低迷により厳しい状況が続いております。

自動車業界におきましては、中国やインドを中心とする新興国市場での販売増加がありましたが、北米や日本においては、依然として厳しい販売状況が続いております。

自動車部品業界におきましても、自動車生産の低迷を受け、経営環境は非常に厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループの当第3四半期累計期間の連結売上高は、341億46百万円と前年同期に比べ172億19百万円(33.5%)の減少となりました。

利益面におきましては、緊急構造改革による合理化策を実施したものの、売上高の減少に追従できず、営業利益は12億60百万円(前年同期は1億57百万円)となりました。経常利益は12億99百万円(前年同期は14百万円)となりました。また、事業構造改革に係わる費用として早期退職実施に係る費用、ライン統廃合に係る費用および減損損失など13億27百万円を特別損失に計上した事により、四半期純利益は24億17百万円(前年同期は33億10百万円)となりました。

事業の種類別セグメントの業績

(1) マニュアルトランスミッション事業(M/T事業)

主力製品であるSUVおよび商用車用M/Tの減少により、売上高は25億15百万円で前年同期に比べ31億93百万円(55.9%)の減少となり、営業利益は4億54百万円(前年同期は1億9百万円)となりました。

(2) 四輪駆動事業(四駆事業)

主力製品であるピックアップトラックおよびSU用トランスファ-の減少により、売上高は95億50百万円で前年同期に比べ47億13百万円(33.0%)の減少となり、営業利益は1億14百万円(前年同期は3億80百万円)となりました。

(3) 部品事業

国内及び北米向け製品の減少により、売上高は190億28百万円で前年同期に比べ58億48百万円(23.5%)の減少となり、営業利益は3億43百万円(前年同期は1億85百万円)となりました。

(4) 産業機械事業(産機事業)

主力製品である大型トラクタ用パワートランスミッションが大幅な減少となり、売上高は28億76百万円で前年同期に比べ34億6百万円(54.2%)の減少となり、営業利益は3億95百万円(前年同期は4億74百万円)となりました。

(5) その他の事業

売上高は1億74百万円で前年同期に比べ57百万円(24.7%)の減少となり、営業利益は41百万円で前年同期に比べ1百万円(4.0%)の減少となりました。

所在地別セグメントの業績

(1) 日本

当社および国内子会社3社においては全ての事業セグメントにおいて売上の減少があり、売上高は334億38百万円で前年同期に比べ159億24百万円(32.3%)の減少となり、営業利益は12億15百万円(前年同期は2億51百万円)となりました。

(2) 北米

四輪バギー用部品やフォークリフト用トランスミッションの大幅な減少により売上高は6億5百万円で前年同期に比べ12億31百万円(67.1%)の減少となり、営業利益は95百万円(前年同期は28百万円)となりました。

(3) アジア

インドネシア国内向け販売も減少し、売上高は1億3百万円で前年同期に比べ64百万円(38.3%)の減少となり、日本向け輸出販売の減少により、営業利益は25百万円で前年同期に比べ36百万円(58.6%)の減少となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 当第3四半期連結累計期間の連結財政状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加、売上債権の増加、有形固定資産の減少、投資有価証券の時価の上昇等により380億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億44百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、仕入債務の増加、事業構造改善引当金の計上、借入金の増加、退職給付引当金の減少等により、243億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億19百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純損失による利益剰余金の減少、投資有価証券の時価の上昇等により、136億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億75百万円減少いたしました。

(2) 当第3四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は（以下「資金」という。）は62億53百万円となり、前連結会計年度末と比べ11億18百万円の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は8億78百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益 23億75百万円、減価償却費26億2百万円、退職給付引当金の減少7億71百万円、事業構造改善費用13億27百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は12億46百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出12億28百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は14億78百万円となりました。

これは主に、長期借入れによる収入22億円、長期借入金の返済による支出5億95百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月6日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

棚卸資産の实地棚卸の省略

当第3四半期連結会計期間末の棚卸資産の算出に関して、实地棚卸を省略し前連結会計年度末に係る实地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,272,778	5,146,336
受取手形及び売掛金	8,296,432	6,912,684
製品	769,221	685,093
仕掛品	1,069,656	993,190
原材料及び貯蔵品	1,567,021	2,024,122
繰延税金資産	2,431	8,885
その他	819,506	491,157
貸倒引当金	13,330	10,442
流動資産合計	18,783,716	16,251,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,231,058	10,215,042
減価償却累計額	6,988,461	6,777,712
建物及び構築物 (純額)	3,242,597	3,437,330
機械装置及び運搬具	52,332,491	52,751,758
減価償却累計額及び減損損失累計額	43,457,347	42,388,132
機械装置及び運搬具 (純額)	8,875,143	10,363,626
工具、器具及び備品	4,066,436	4,268,272
減価償却累計額及び減損損失累計額	3,589,267	3,666,036
工具、器具及び備品 (純額)	477,169	602,235
土地	2,562,859	2,560,130
建設仮勘定	14,711	29,343
有形固定資産合計	15,172,480	16,992,666
無形固定資産	943,181	1,085,199
投資その他の資産		
投資有価証券	3,051,000	2,069,188
その他	72,320	79,296
貸倒引当金	12,767	11,504
投資その他の資産合計	3,110,553	2,136,980
固定資産合計	19,226,216	20,214,847
資産合計	38,009,933	36,465,874

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,002,701	4,282,714
短期借入金	2,089,226	1,212,975
未払金	987,289	1,526,271
未払費用	1,735,485	1,464,749
未払法人税等	51,239	33,866
賞与引当金	271,024	493,542
事業構造改善引当金	723,561	-
環境対策引当金	28,563	28,563
その他	382,079	74,742
流動負債合計	12,271,171	9,117,425
固定負債		
長期借入金	8,428,114	7,825,821
繰延税金負債	706,000	368,358
退職給付引当金	2,631,950	3,402,557
役員退職慰労引当金	307,880	309,880
その他	7,523	9,000
固定負債合計	12,081,468	11,915,617
負債合計	24,352,640	21,033,043
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	2,075,882	2,075,882
利益剰余金	8,343,842	10,760,960
自己株式	625,318	625,278
株主資本合計	13,294,405	15,711,564
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	766,067	153,941
為替換算調整勘定	576,391	585,041
評価・換算差額等合計	189,675	431,099
少数株主持分	173,211	152,366
純資産合計	13,657,292	15,432,831
負債純資産合計	38,009,933	36,465,874

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	51,366,378	34,146,494
売上原価	46,871,695	32,062,238
売上総利益	4,494,683	2,084,255
販売費及び一般管理費		
荷造費	189,981	92,541
人件費	2,233,762	1,594,894
賃借料	123,304	84,033
減価償却費	346,943	336,958
賞与引当金繰入額	233,346	206,591
退職給付費用	97,594	104,985
その他の販売費	1,427,470	924,780
販売費及び一般管理費合計	4,652,404	3,344,785
営業損失()	157,721	1,260,529
営業外収益		
受取利息	1,283	6,403
受取配当金	68,140	15,769
為替差益	9,801	-
受取賃貸料	21,208	20,786
持分法による投資利益	4,193	13,216
その他	84,056	43,877
営業外収益合計	188,684	100,053
営業外費用		
支払利息	41,082	130,985
その他	3,881	8,149
営業外費用合計	44,964	139,135
経常損失()	14,000	1,299,610
特別利益		
固定資産売却益	4,340	1,968
貸倒引当金戻入額	65	590
事業整理損失引当金戻入額	30,102	-
国庫補助金	17,300	-
退職給付引当金戻入額	5,867	-
退職給付制度改定益	-	268,270
特別利益合計	57,676	270,829
特別損失		
固定資産売却損	-	3,488
固定資産除却損	86,134	15,590
固定資産圧縮損	8,086	-
事業構造改善費用	-	1,327,590
環境対策引当金繰入額	1,359	-
その他	21,009	-
特別損失合計	116,589	1,346,668
税金等調整前四半期純損失()	72,913	2,375,450
法人税等合計	3,219,843	25,101
少数株主利益	17,366	16,566
四半期純損失()	3,310,123	2,417,118

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	72,913	2,375,450
減価償却費	3,141,009	2,602,338
事業構造改善費用	-	1,327,590
持分法による投資損益(は益)	4,193	13,216
退職給付引当金の増減額(は減少)	249,579	771,179
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	56,925	2,000
賞与引当金の増減額(は減少)	633,042	222,517
役員賞与引当金の増減額(は減少)	22,000	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	12,212	4,150
受取利息及び受取配当金	70,448	22,173
為替差損益(は益)	16,101	750
支払利息	41,082	130,985
固定資産除売却損益(は益)	81,793	17,110
固定資産圧縮損	8,086	-
売上債権の増減額(は増加)	4,079,075	1,697,718
たな卸資産の増減額(は増加)	476,365	302,009
その他の固定資産の増減額(は増加)	8,064	6,976
その他の流動資産の増減額(は増加)	64,513	2,064
仕入債務の増減額(は減少)	2,873,308	1,709,015
未払費用の増減額(は減少)	321,224	143,574
その他の負債の増減額(は減少)	120,794	305,558
小計	2,389,812	1,442,238
利息及び配当金の受取額	69,423	22,126
利息の支払額	40,419	134,402
事業構造改善に伴う支出	-	432,268
法人税等の支払額	794,141	18,977
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,624,675	878,716
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(は増加)	1,800	7,856
投資有価証券の取得による支出	3,971	1,755
有形固定資産の取得による支出	1,496,072	1,228,776
有形固定資産の売却による収入	4,730	6,268
無形固定資産の取得による支出	396,937	13,905
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,894,051	1,246,024
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	121,690	125,496
長期借入れによる収入	800,000	2,200,000
長期借入金の返済による支出	539,512	595,960
自己株式の取得による支出	379	39
配当金の支払額	231,552	-
少数株主への配当金の支払額	385	-
自己株式の売却による収入	35	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	149,896	1,478,503
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,716	7,390
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	132,196	1,118,585
現金及び現金同等物の期首残高	1,225,527	5,134,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,093,331	6,253,121

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	M/T (千円)	四輪駆動装置 (千円)	部品 (千円)	産業機械 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
外部顧客に対する売上高	5,708,500	14,264,789	24,877,588	6,283,533	231,965	51,366,378	-	51,366,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	528,908	528,908	(528,908)	-
計	5,708,500	14,264,789	24,877,588	6,283,533	760,874	51,895,286	(528,908)	51,366,378
営業利益又は営業損失()	109,673	380,892	185,595	474,518	43,041	158,600	(879)	157,721

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	M/T (千円)	四輪駆動装置 (千円)	部品 (千円)	産業機械 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
外部顧客に対する売上高	2,515,147	9,550,888	19,028,742	2,876,930	174,784	34,146,494	-	34,146,494
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	202	424,362	424,564	(424,564)	-
計	2,515,147	9,550,888	19,028,742	2,877,133	599,147	34,571,059	(424,564)	34,146,494
営業利益又は営業損失()	454,791	114,115	343,009	395,215	41,335	1,265,796	(5,267)	1,260,529

(注) 1. 事業区分の方法

製品の種類、性質及び販売市場等の類似性を考慮して、「M/T事業」、「四輪駆動装置事業」、「部品事業」、「産業機械事業」、「その他事業」に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
M/T	SUV車、商用車用トランスミッション
四輪駆動装置	4WD用トランスファー、フルタイム4WD用駆動力配分装置(AXC)トルク感応型カム式LSD(SURETRAC)、ハイブリッド用ユニット、四輪バギー用部品
部品	オーバーランニングクラッチ、インプットシャフト、インナーレース、フランジコンパニオン、ディスクブレーキ、ステアリング用部品
産業機械	農業機械用トランスミッション、建設機械用減速機、フォークリフト用トランスミッション、工作機械
その他	物流容器の洗浄、工場内作業、製品等輸送

3. 追加情報

前第3四半期連結累計期間

(有形固定資産の耐用年数の変更)

平成20年度税制改正による減価償却制度の法定耐用年数及び資産区分の見直しに伴い、第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数を短縮しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて当第3四半期連結累計期間の営業利益は、M/T事業で43,748千円、四輪駆動装置事業で112,686千円、部品事業で250,561千円、産業機械事業で34,910千円、それぞれ減少しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
外部顧客に対する売上高	49,362,355	1,836,812	167,210	51,366,378	-	51,366,378
セグメント間の内部売上 高又は振替高	475,817	-	291,338	767,156	(767,156)	-
計	49,838,173	1,836,812	458,549	52,133,534	(767,156)	51,366,378
営業利益又は営業損失()	251,835	28,652	62,153	161,029	(3,308)	157,721

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
外部顧客に対する売上高	33,438,245	605,123	103,125	34,146,494	-	34,146,494
セグメント間の内部売上 高又は振替高	184,158	-	114,947	299,106	(299,106)	-
計	33,622,404	605,123	218,072	34,445,600	(299,106)	34,146,494
営業利益又は営業損失()	1,215,417	95,571	25,721	1,285,267	(24,738)	1,260,529

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国々又は地域

(1)北米.....アメリカ

(2)アジア.....インドネシア

3. 追加情報

前第3四半期連結累計期間

(有形固定資産の耐用年数の変更)

平成20年度税制改正による減価償却制度の法定耐用年数及び資産区分の見直しに伴い、第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数を短縮しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて当第3四半期連結累計期間の営業損失は、日本で441,906千円増加しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	北米	その他の地域	計
海外売上高(千円)	5,613,222	223,794	5,837,016
連結売上高(千円)	-	-	51,366,378
海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	10.9	0.5	11.4

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	その他の地域	計
海外売上高(千円)	4,464,739	169,507	4,634,247
連結売上高(千円)	-	-	34,146,494
海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	13.1	0.5	13.6

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に対する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1)北米.....アメリカ・カナダ

(2)その他の地域.....インドネシア・オーストラリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。